

長野県の金融経済動向

(2020年9月4日)

【概況】

長野県経済は、新型コロナウイルス感染症の影響などから、厳しい状況が続いている。

最終需要の動向をみると、設備投資は概ね横ばいとなっている。また、個人消費は一部に下げ止まりの動きがみられるものの、弱めの動きが続いている。住宅投資は弱めの動きとなっている。公共投資は増加している。

この間、生産は減少している。雇用・所得は、労働需給が一段と緩和してきており、弱めの動きが続いている。

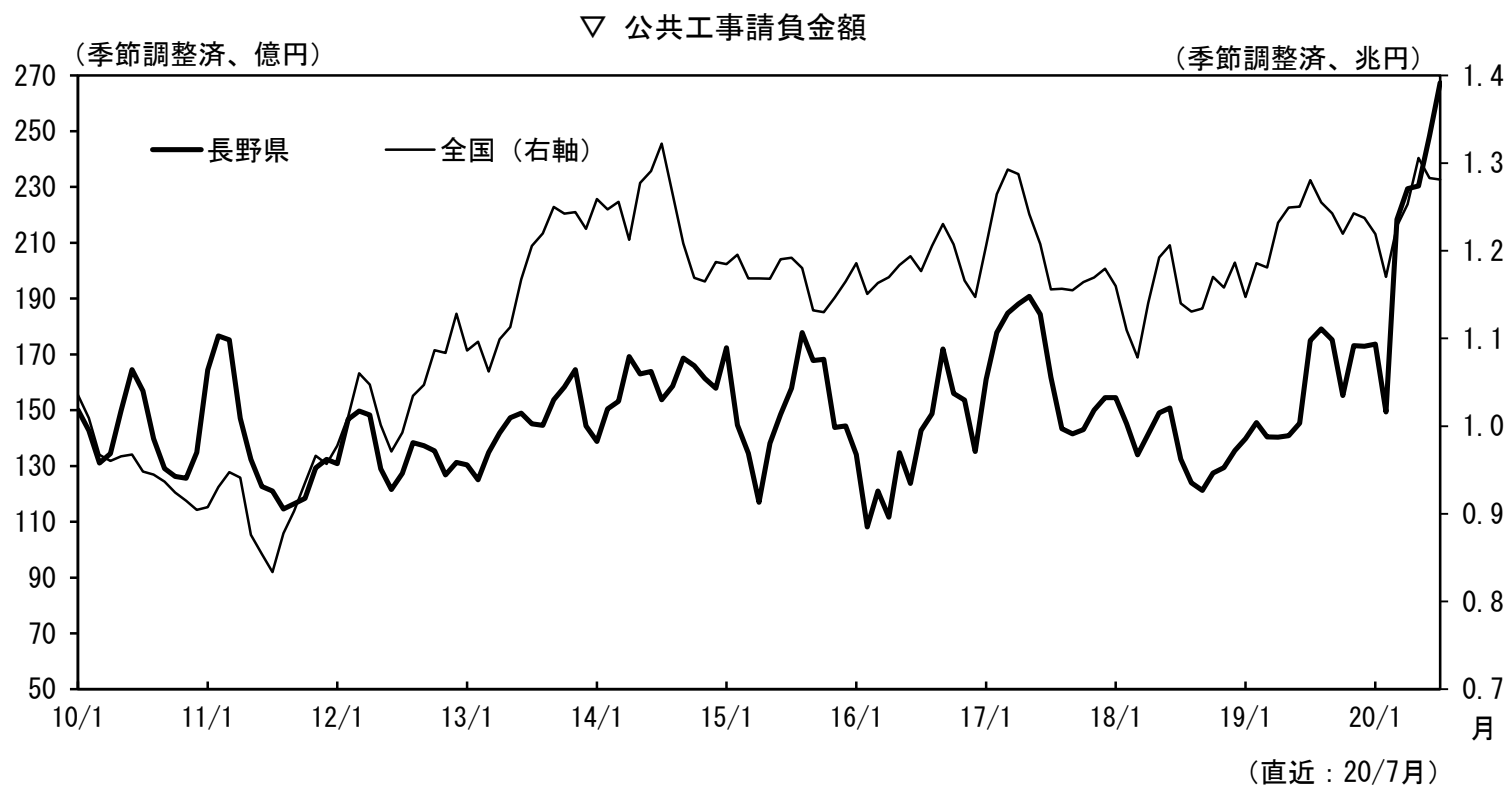
【前回からの変化】

20/7月	20/9月
<p>長野県経済は、新型コロナウイルス感染症の影響などから、厳しい状況が続いている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設備投資は概ね横ばいとなっている。 ・個人消費は弱めの動きが続いている。 ・住宅投資は弱めの動きとなっている。 ・公共投資は増加している。 <p>・生産は弱めの動きが続いている。</p> <p>・雇用・所得は、労働需給が一段と緩和してきており、弱めの動きが続いている。</p>	<p>長野県経済は、新型コロナウイルス感染症の影響などから、厳しい状況が続いている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設備投資は概ね横ばいとなっている。 ・<u>個人消費は一部に下げ止まりの動きがみられるものの、弱めの動きが続いている。</u> ・住宅投資は弱めの動きとなっている。 ・公共投資は増加している。 <p>・<u>生産は減少している。</u></p> <p>・雇用・所得は、労働需給が一段と緩和してきており、弱めの動きが続いている。</p>

1. 実体経済

公共投資

公共投資は増加している。



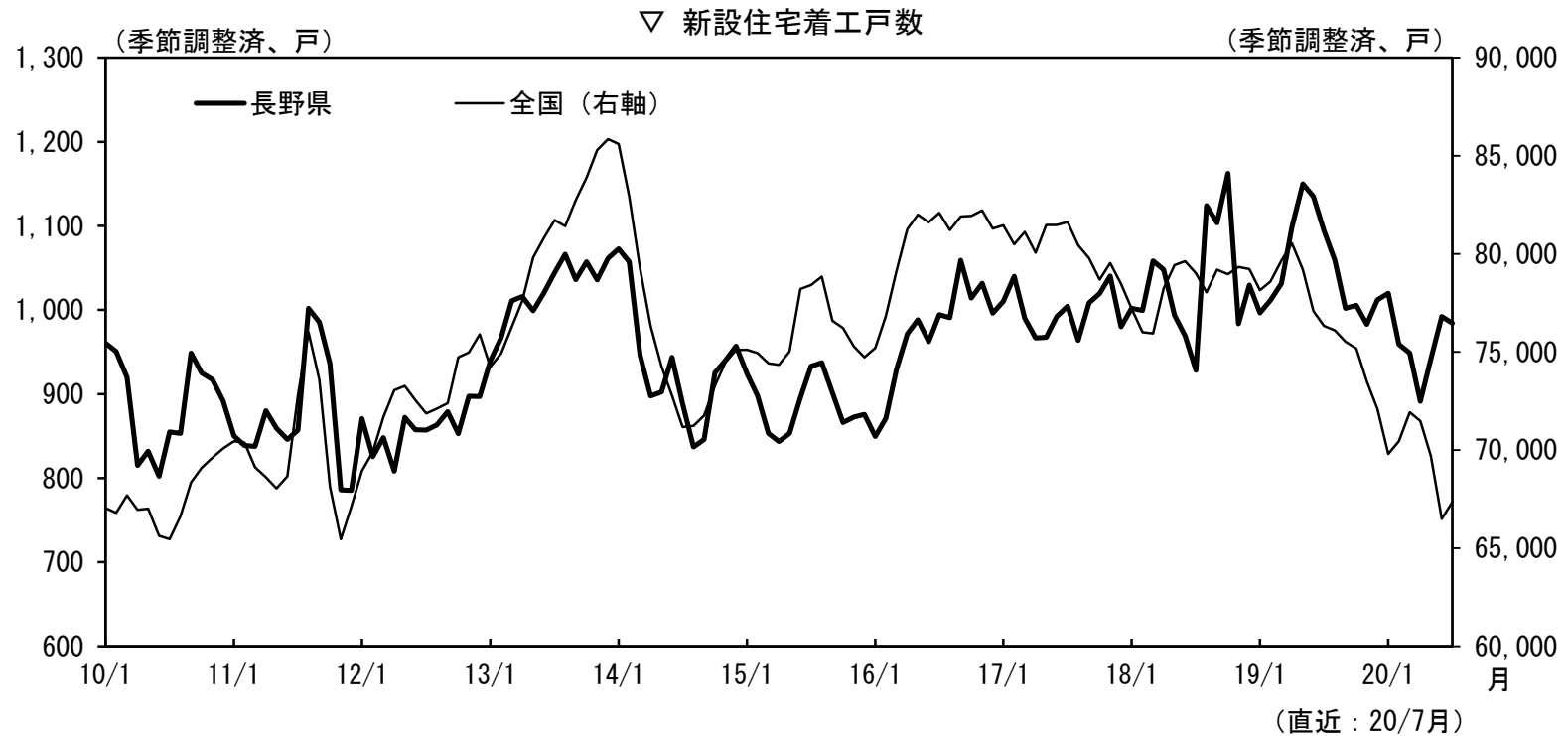
(注) 後方3ヶ月移動平均。季節調整値は、日本銀行松本支店算出値。

(出所) 東日本建設業保証「公共工事前払金保証統計」

1. 実体経済

住宅投資

住宅投資は弱めの動きとなっている。



(注) 後方3ヶ月移動平均。長野県の季節調整値は、日本銀行松本支店算出値。
(出所) 国土交通省、長野県「建築着工統計」

1. 実体経済

設備投資

設備投資は概ね横ばいとなっている。

設備投資は、20年度は前年並みの計画となっている。
 輸出は、20年度は前年度を下回る計画となっている。
 企業収益は、20年度は前年度を下回る計画となっている。

長野県

▽ 設備投資額

(前年度比、%)

	19年度	20年度 計画
製造業	- 0.4	4.0
非製造業	8.5	- 5.8
全産業	1.1	2.2

▽ 輸出(売上高)

(前年度比、%)

	19年度	20年度 計画
製造業	- 8.9	- 4.8

▽ 経常利益

(前年度比、%)

	19年度	20年度 計画
製造業	- 65.6	- 68.4
非製造業	- 11.7	- 13.8
全産業	- 53.7	- 45.3

全国

▽ 設備投資額

(前年度比、%)

	19年度	20年度 計画
製造業	0.9	3.1
非製造業	- 1.5	- 3.1
全産業	- 0.6	- 0.8

▽ 輸出(売上高)

(前年度比、%)

	19年度	20年度 計画
製造業 <大企業>	- 5.9	- 4.2

▽ 経常利益

(前年度比、%)

	19年度	20年度 計画
製造業	- 15.9	- 21.9
非製造業	- 5.1	- 18.5
全産業	- 9.6	- 19.8

(出所) 日本銀行、日本銀行松本支店「企業短期経済観測調査(20/6月)」

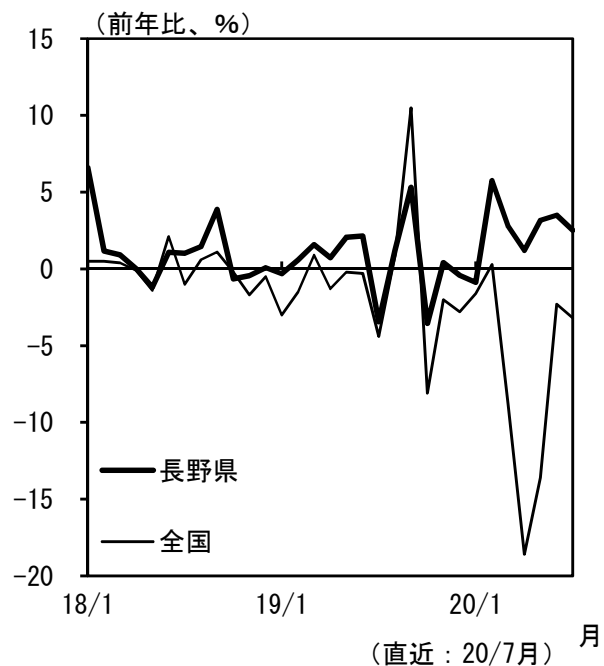
1. 実体経済

個人消費

個人消費は一部に下げ止まりの動きがみられるものの、弱めの動きが続いている。

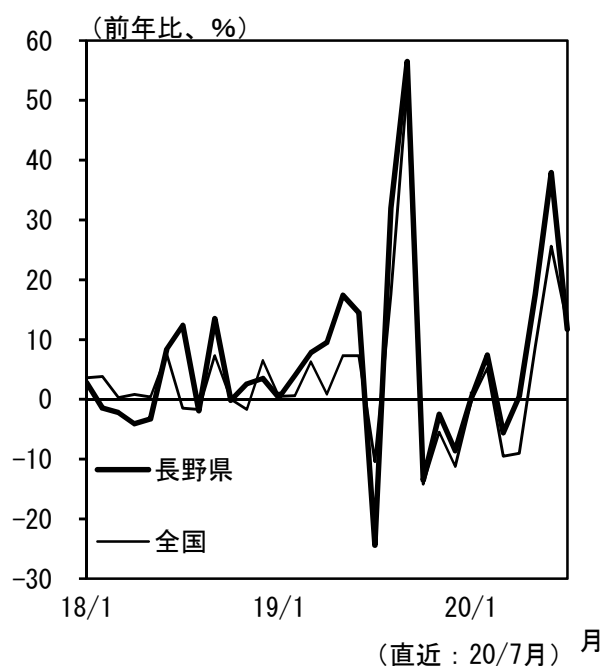
県内大型小売店（百貨店、スーパー）売上高（当店調べ<店舗調整前>）は、弱めの動きが続いている。家電販売額は、横ばい圏内で推移している。新車登録台数は、減少幅が縮小している。

▽ 大型小売店売上高（百貨店・スーパー）



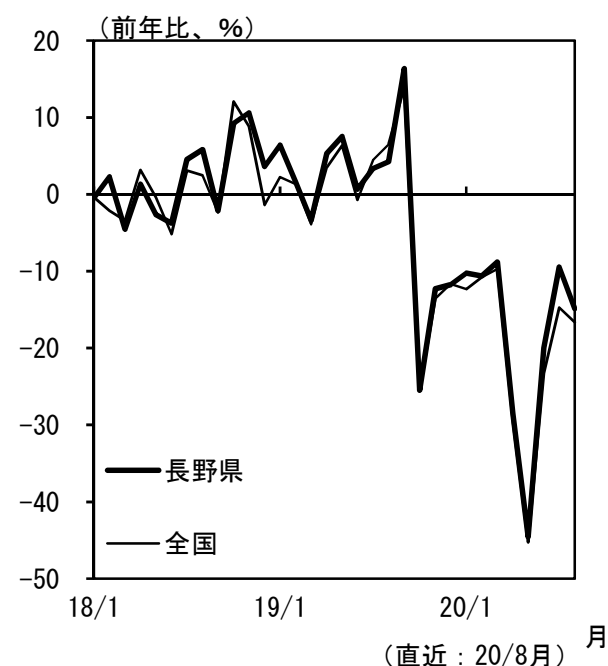
(出所) 長野県：日本銀行松本支店
全国：経済産業省「商業動態統計」

▽ 家電販売額



(出所) 経済産業省「商業動態統計」

▽ 新車登録台数



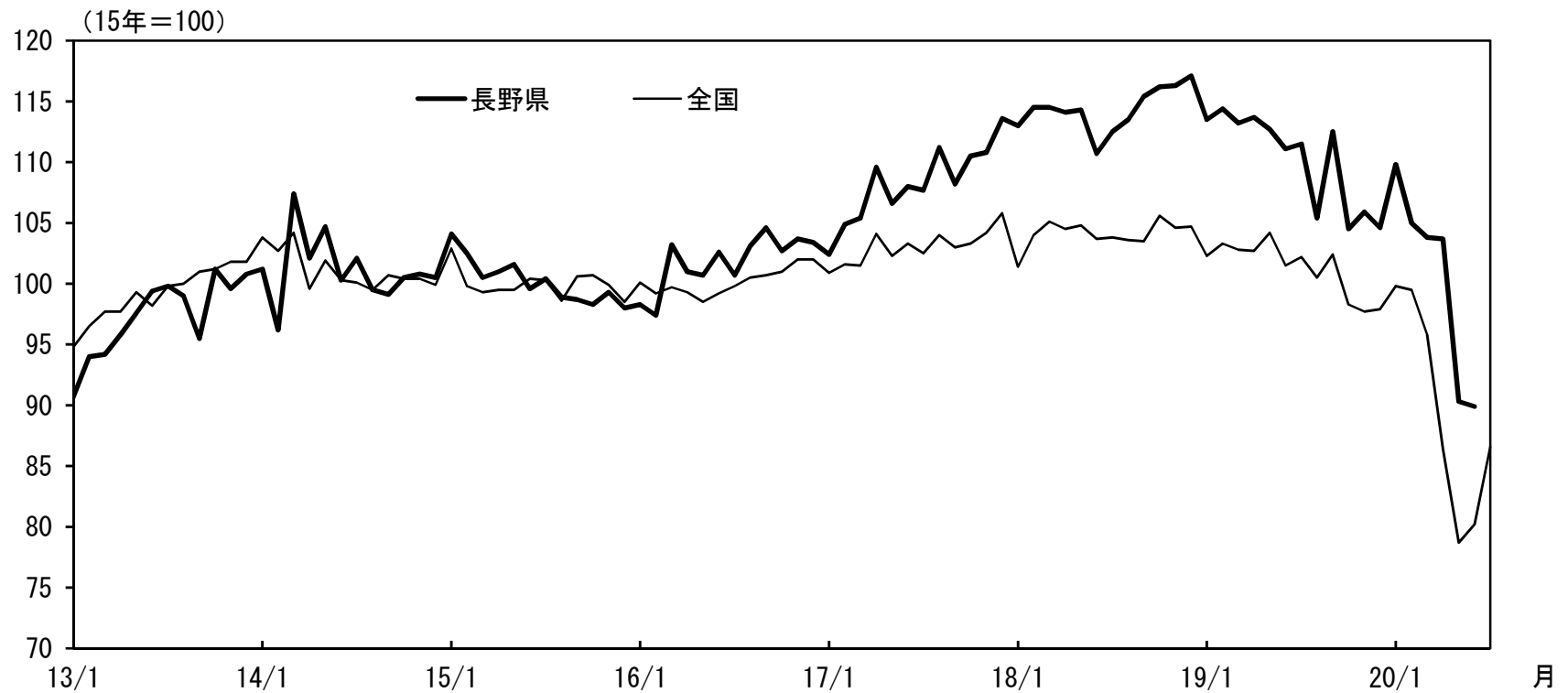
(出所) 長野運輸支局「新車新規登録台数」

1. 実体経済

生産

生産は減少している。

▽ 鉱工業生産指数（季節調整済）



(出所) 経済産業省、長野県「鉱工業指数」

(直近：長野県=20/6月、全国=20/7月)

1. 実体経済

生産

半導体関連・電子部品等では、自動車向け等の需要が鈍化するもとで、生産は弱めの動きが続いている。

自動車関連では、生産は大幅に減少している。

機械・同関連部品等では、計器や工作機械、バルブでは、海外需要の動向等を受け、生産は弱めの動きとなっている。成形機では、海外需要の動向等を受け、生産は弱含んでいる。

飲料では、弱含んでいる。

【前回からの変化】

20/7月	20/9月
<p>半導体関連・電子部品等では、自動車向け等の需要が鈍化するもとで、生産は弱めの動きが続いている。</p> <p>自動車関連では、生産は弱めの動きが広がっている。</p> <p>機械・同関連部品等では、計器や工作機械では、海外需要の動向等を受け、生産は弱めの動きとなっている。成形機やバルブでは、海外需要の動向等を受け、生産は弱含んでいる。</p> <p>飲料では、弱含んでいる。</p>	<p>半導体関連・電子部品等では、自動車向け等の需要が鈍化するもとで、生産は弱めの動きが続いている。</p> <p><u>自動車関連では、生産は大幅に減少している。</u></p> <p>機械・同関連部品等では、計器や工作機械、<u>バルブでは、海外需要の動向等を受け、生産は弱めの動きとなっている。</u>成形機では、海外需要の動向等を受け、生産は弱含んでいる。</p> <p>飲料では、弱含んでいる。</p>

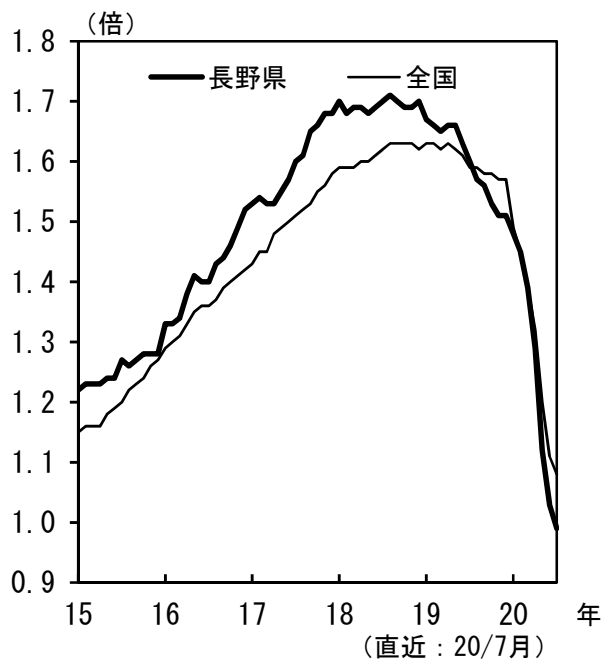
1. 実体経済

雇用・所得

雇用・所得は、労働需給が一段と緩和してきており、弱めの動きが続いている。

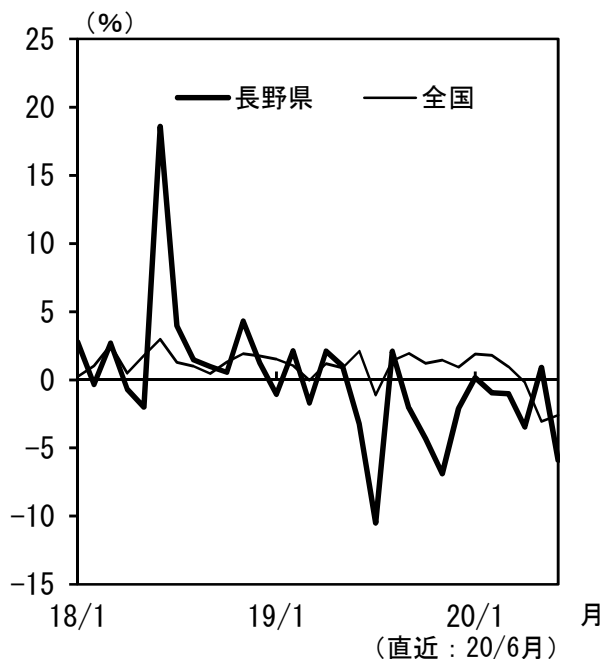
有効求人倍率は、一段と低下している。雇用者所得は、弱めの動きが続いている。就業者数は、横ばい圏内で推移している。

▽ 有効求人倍率（季節調整済）



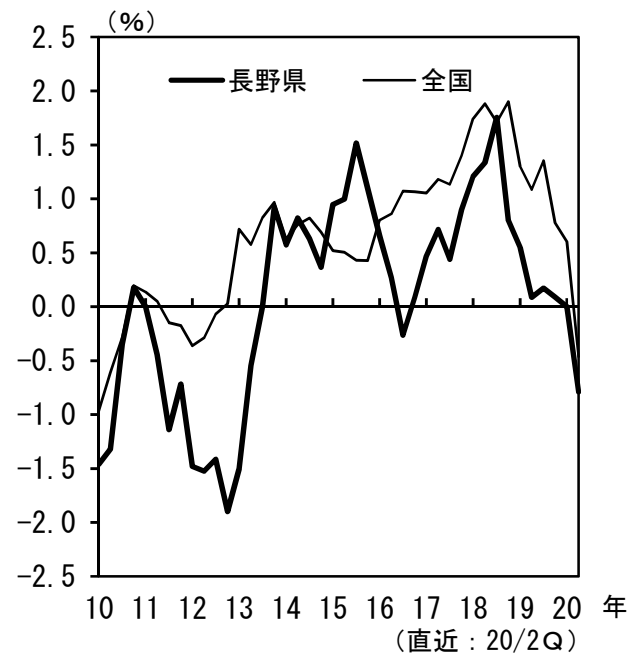
(出所) 厚生労働省、長野労働局
「職業安定業務統計」

▽ 雇用者所得（前年比）



(注) 現金給与総額指数×常用雇用指数の前年比。
(出所) 厚生労働省、長野県「毎月勤労統計」

▽ 就業者数（前年比）

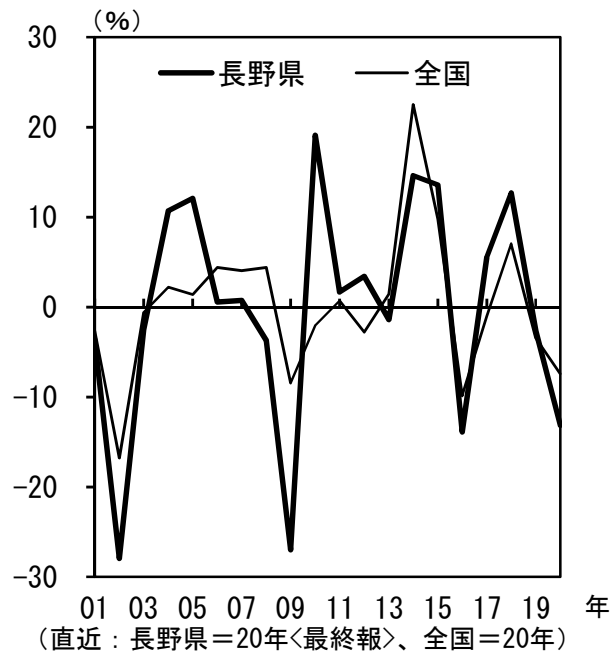


(出所) 総務省「労働力調査」

1. 実体経済

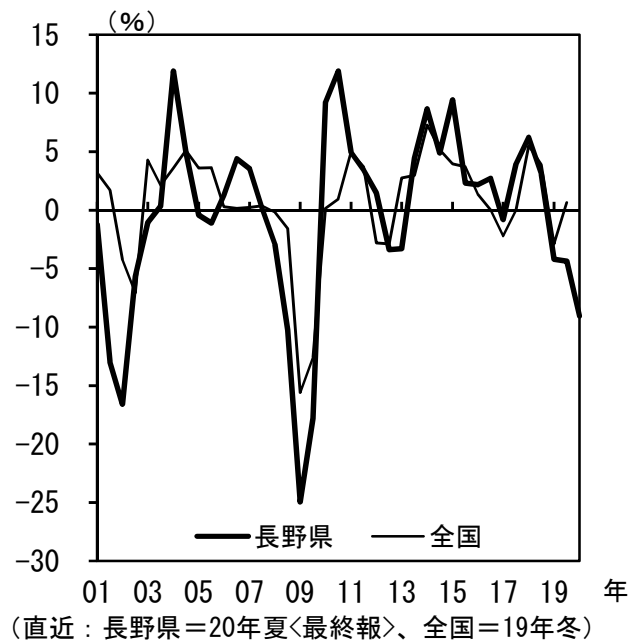
雇用・所得

▽ 平均賃上妥結額（前年比）



(出所) 長野県：長野県
 「春季賃上げ要求・妥結状況調査」
 全国：厚生労働省
 「民間主要企業春季賃上げ要求・妥結状況」

▽ 平均賞与妥結額（前年比）

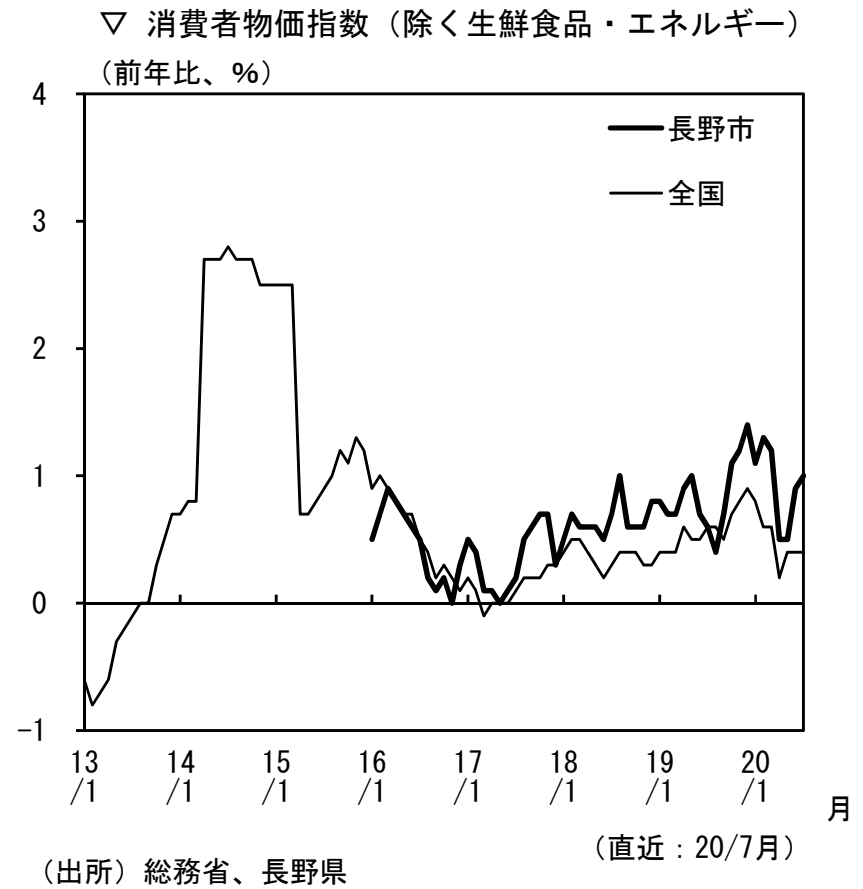
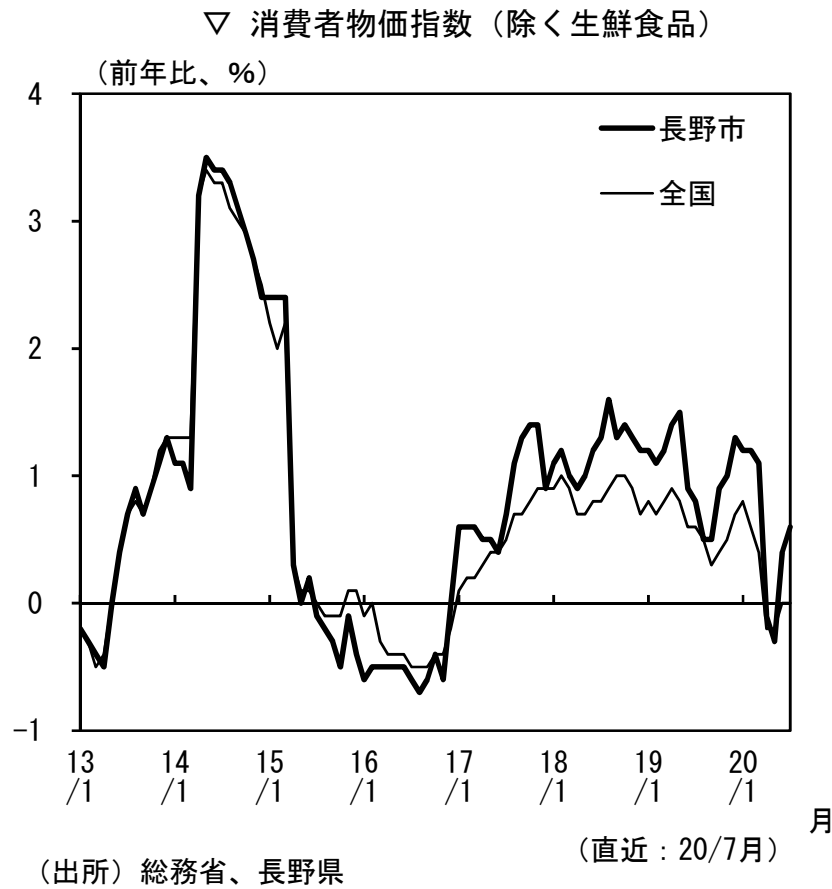


(出所) 長野県：長野県
 「夏季・年末一時金要求・妥結状況調査」
 全国：厚生労働省
 「民間主要企業夏季・年末一時金妥結状況」

1. 実体経済

物価

消費者物価指数（除く生鮮食品）をみると、20/7月は前年を上回っている。

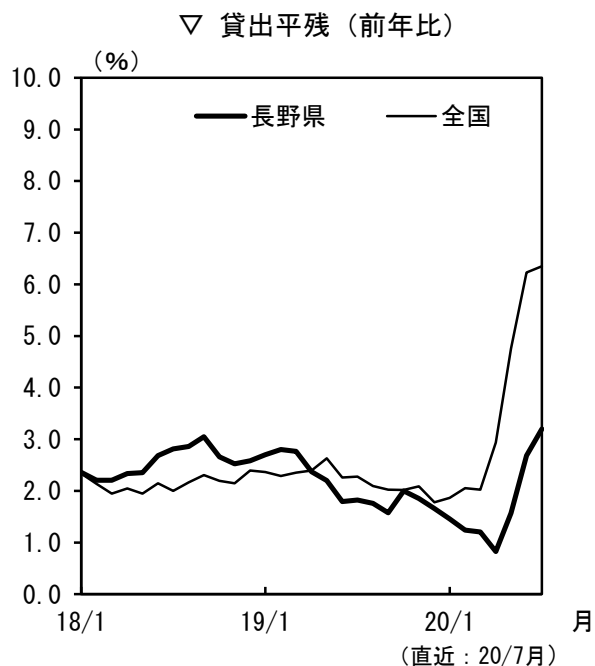


2. 金融

貸出金・預金

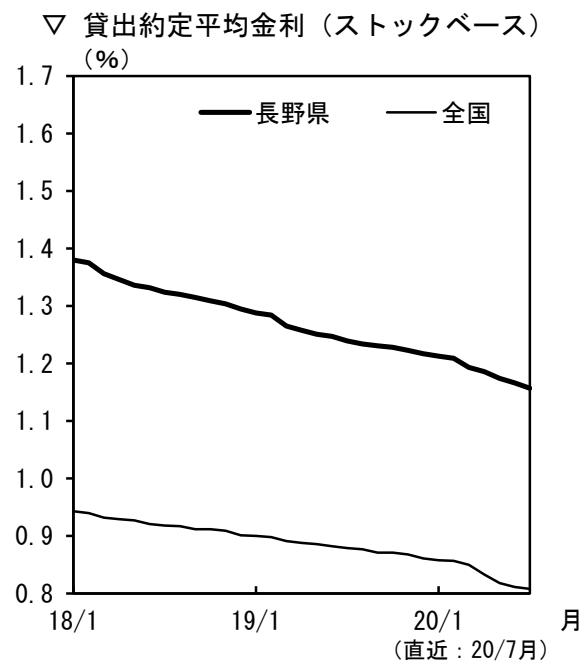
貸出金は、前年比で3%台のプラスとなっている。法人向けは、運転資金を中心に増加している。個人向けは、住宅ローンを中心に緩やかに増加している。こうした中、貸出約定平均金利は、緩やかに低下している。

預金は、法人預金や個人預金の増加を主因に前年比で6%台のプラスとなっている。



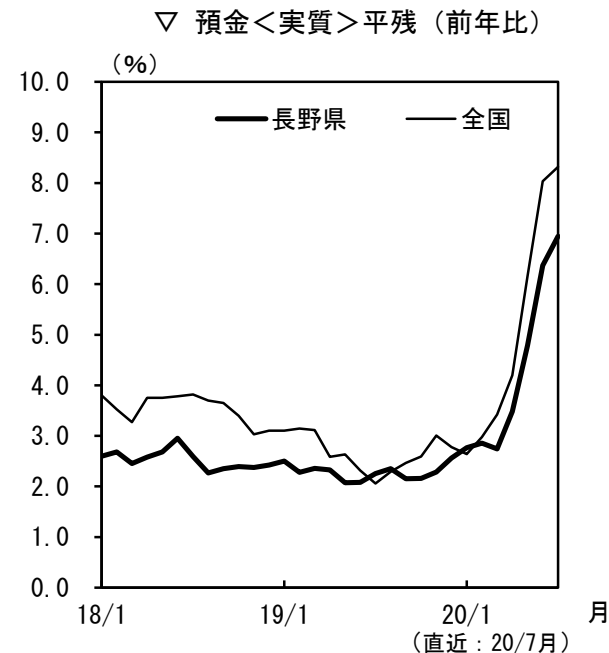
(注) ・「長野県」は管内に本店を置く銀行および信金の県内店舗分。「全国」は都銀、地銀、地銀Ⅱ、信託3行（三菱UFJ信託、みずほ信託、三井住友信託）、あおぞら銀行、新生銀行、信金の合計。
・「全国」直近データは速報。

(出所) 日本銀行



(注) ・「長野県」は管内に本店を置く銀行および信金の県内店舗分。「全国」は銀行本体の設立根拠が国内法に準拠している銀行のうち、日本銀行と取引のある銀行（整理回収機構およびゆうちょ銀行を除く）。

(出所) 日本銀行



(注) ・「長野県」は管内に本店を置く銀行および信金の県内店舗分（表面預金から切手手形を除いた額）。「全国」は都銀、地銀、地銀Ⅱ（表面預金から切手手形を除いた額+①）。

・「全国」直近データは速報。

(出所) 日本銀行